

第496回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 平成30年11月14日(水) 午前10:30より

2. 開催場所 長野放送本社会議室

3. 委員の出席 ○委員総数 9名
○出席委員数 8名
○出席委員の氏名(敬称略・委員は五十音順)

委員長 市川 浩一郎

副委員長 渡辺 重久

委員 荻原 健司

委員 春日 十三男

委員 笹本 正治

委員 田中 宏昌

委員 中村 博

委員 林 新一郎

○欠席

委員 加藤 恵美子

○放送事業者側出席者名

外山 衆司 (代表取締役社長)

矢澤 弘 (取締役報道制作担当)

飯塚 憲彦 (取締役編成・業務推進・放送番組審議会担当
業務推進局長)

柳沢 浩之 (編成局長兼放送番組審議会事務局長)

上小牧 忠道 (編成局次長兼編成部長兼視聴者室長)

春原 晴久 (報道制作局長)

伊藤 晴彦 (報道制作局次長兼制作部長)

大日方 詩織 (制作部番組ディレクター)

4. 議題

(1) 番組審議

『スマイルこれダネッ！

移住しちゃいました！長野・新潟』

(平成30年10月26日金曜日午後7:00～7:57放送)

(2) 視聴者対応報告 (平成30年10月分)

(3) その他

5. 議事概要

(1) 番組審議

- ・“移住”というテーマを柔らかいバラエティ番組で構成し、視聴者に見やすくした。
- ・移住には良い面と悪い面があるが、良い面にスポットを当てて地域と触れ合う良さをアピールしていた。
- ・若者と地域の関わり方、新しい動きを取り上げ、“移住”の視点を広げた。
- ・“移住”と言えば、中高年や定年した方のもの、というイメージが、この番組を観て変わった。
- ・制作費をかけた番組で、ゲストの顔ぶれも良く、取材場所を含め、中身が濃い番組だった。
- ・若者の間に、地方や田舎への憧れや、価値観の変化があることを感じさせてくれた番組。
- ・県境のいわゆる“限界集落”と言われている場所を取り上げ、そこの暮らしの豊かさ、移住してきた方と住人たちの温かい交流風景を通して、本当の豊かさとは何なのかを問う内容だった。
- ・首都圏や県外の方々にこうした番組を見せて欲しい。

- ・移住者の全体像がわかる解説が少し欲しかった。
- ・番組の最後で、ゲストに、紹介した場所の中から自分の住みたい移住先はどこかを敢えて言わせたのは無理があった。
- ・「厚切りジェイソン」からは彼でないとできないコメントを引き出してほしかった。
- ・移住の良いところだけでなく、たとえば子供の教育の問題点などにも触れて欲しかった。
- ・長野・新潟両県のグルメ部分は必要がなかったのではないか。

(2) 視聴者対応報告

資料に基づき平成30年10月分の視聴者対応について編成局より報告を行った。

以上